

**「海外インフルエンサーDC発信事業」
公募型プロポーザルに関する質問と回答**

令和7年12月5日
福島県観光交流課

No.	質問事項	質問内容	回答
1	募集要領2委託業務の概要(4)	各現地取材時に受託者が負担する経費について	基本的にはインフルエンサーが1人で現地取材をしていただくことを想定しており、渡航費や国内での移動に係る費用(欠航等によるキャンセル料を含む)、情報発信に係る報償費、飲食費、体験費、入場料、宿泊料(取材に係る日数が2泊3日以内に納まらなかつた場合の延泊料を含む)等事業実施のために必要な経費のすべてを委託料として設計しております。また、インフルエンサーから同伴依頼があった場合の同伴者の費用についても、委託料の範囲内で事業費としていただくことは可能です。 ただし、取材とは関係のないインフルエンサーの滞在費や個人的なお土産等については、委託料から除いていただくよう御注意ください。 なお、インフルエンサーが作成した動画等を県が二次利用する際の使用料は、委託料に含めておりません。
2		委託料の年度ごとの考え方について	R7年度、R8年度それぞれにお示しした委託料は、各会計年度毎の委託料の上限になります。 R7年度は、契約から年度末まで3か月と大変短い期間に事業実施をしていただく形となります。恐れ入りますがご理解の上、企画提案してください。 なお、R7年度の契約額が、提示した委託料の上限を下回ったとしても、残額をR8年度に流用することは想定されません。
3	仕様書4事業の目的	本事業が目指す成果について(認知度向上が主目的なのか、実際の来県(誘客)増加を指標としているのか、経済効果を重視しているのか)	本事業は、ふくしまDCを契機として、海外の方々に本県の魅力を広く認知していただくことで、来県するインバウンドの誘客促進を図り、ひいては経済効果につながるものと認識しております。
4		「アフターDC」について	本事業は、アフターDCを本県で開催することができるようにするための施策の一つであり、本県でのアフターDCの開催が既に確定しているものではありません。
5	仕様書5業務委託内容(1)	台湾・米国・豪州の選定理由について	選定理由については、次のとおりです。 【台湾】…本県の外国人宿泊客数の53.4%を占める地域であるため。 【米国】…英語圏のフォロワーに対する影響力が強いため。(欧州はゴッホ美術館があるため、米国を優先) 【豪州】…令和7年度にトップセールスを行い、本県への誘客促進に向けた素地を築いた国であるため。
6		台湾・米国・豪州からの来県者の割合について	下記に掲載の「R6年観光入込状況調査」の27ページをご覧ください。 https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32031a/kanko-koryu3.html
7	仕様書5業務委託内容(1)	インフルエンサーの具体的な選定基準について	インフルエンサーの選定に係る具体的な基準は設けておりませんが、目安として概ねフォロワー数が15万以上のインフルエンサーを想定しております。 インフルエンサーの属性については、特段設定いたしませんので、それぞれのインフルエンサーの強みを活かして福島県のコンテンツをPRしていただきたいです。
8		KPIの有無について	今回のプロポーザルにつきましては、明確なKPIの設定はございませんが、インフルエンサー1名あたりの投稿本数は、目安として概ねロング動画であれば1本、ショート動画であれば3本、静止画であれば6本程度の投稿本数を見込んでおります。リーチ数は、1名につき5万程度を想定しております。投稿媒体の指定はございませんが、同じエリアに発信力があるインフルエンサーの投稿媒体に偏りがないよう御配慮ください。
9	仕様書5業務委託内容(1)	インフルエンサーの優劣を判断する指標について(総フォロワー数、エンゲージメント数/率、投稿回数、「大ゴッホ展・ポケモン天文台」との親和性のいずれを重視しているか)	選定に際して重要視する指標は特に定めておらず、仕様書7 プロポーザルの審査に関する事項(1)の審査基準に基づき、頂いた御提案の内容を総合的に判断して決定します。
10		インフルエンサーの人数について	委託料の範囲内でインフルエンサーの人数を10名以上にしていただくことは可能です。ただし、人数の多さが必ずしも審査基準の「企画提案(効果性・独自性)」に直結するとは限りません。
11	仕様書5業務委託内容(1)	インフルエンサーの国籍、居住地について	仕様書5業務委託内容(1)に記載のとおりです。なお、現地に居住しないインフルエンサーを採用する場合は、企画提案の段階で「例外的に情報発信力等が高いと認められる」点についてお示しください。
12		インフルエンサー以外の海外への発信力があるメディアの活用について	インフルエンサーの代わりに海外への発信力があるネットニュース等のメディアを採用することについては、本事業の対象外とします。

13	仕様書5業務委託内容 (2)	インフルエンサーのコースの選定について	インフルエンサーに事前にヒアリングしていただいた上、受託者様にて作成していただいたコースを確認させていただくことを想定しております。 コースで巡っていただくスポットについては、DC特設サイト(https://www.fukushima-dc-cp.jp)への掲載の有無にかかわらず、県内の様々なスポットをコースに組み込んでいただいて問題ありません。 企画提案の段階では、9コースすべてを御提案する必要はなく、①どのような属性のインフルエンサーが、②県内のどういったコンテンツを組み込んだコースを巡り、③どのような媒体を使って、④どれぐらいの本数の動画等を発信することが可能なのかを御提案いただくことを想定しております。 インフルエンサーに来県いただく2月～6月の期間は、雪を楽しめる時季から桜が咲き新緑を迎える時季であり、福島での四季の移り変わりを感じていただける絶好の機会ですので、それぞれのインフルエンサーの強みを活かした御提案をお待ちしております。
14		特に力を入れて訴求したい分野(自然、食、文化、街歩きなど)の有無について	ふくしまDCでは、自然、食、文化等本県の魅力的なコンテンツについて広く発信することができるよう取り組んでいるところです。特定のエリアやコンテンツのみを対象としたものではありません。インフルエンサーが独自の切り口で県内の魅力を発信していただくことを想定しております。
15		「ただし、各エリアの訪問人数が中通り3名以上、会津3名以上、浜通り3名以上となるよう調整する。」とある「訪問」の定義について	ここでいう「訪問」とは、中通り、浜通り、会津の各エリア内を中心に観光スポットを巡ること又はイベントに参加することを指しており、単に訪問するのみにとどまらず、訪問時の様子を発信していただくことを想定しております。取材していただく観光スポットや参加するイベントの数については、特段設定しておりません。「3名以上」の考え方について、1名のインフルエンサーが中通り、会津、浜通りのうちの2つ以上のエリアを訪問し、それぞれのエリアについてSNSで発信した場合は、各エリア毎に1名とカウントして差し支えありません。ただし、「大ゴッホ展」(内覧会を含む。)及び「ポケモン天文台」については、すべてのインフルエンサーによる取材を想定するため、両イベントの取材をしたことをもって「中通り1人」とカウントはしないようお願いします。
16	仕様書5業務委託内容 (3)	「大ゴッホ展」に関する主催側が重視しているPRポイントや想定しているターゲット層について	PRポイントは、21年ぶりに『夜のカフェテラス』が来日し、東日本大震災及び原発事故から15年目となる節目の年に福島県でご覧いただける点です。(日本国内では、東京、神戸、福島の3か所のみ。)ターゲット層については、特段設定しておりません。世界的に有名な画家が描いた本物の美術作品を広く御観覧いただきたいです。
17		「大ゴッホ展」の内覧会について	内覧会の詳細については、現在調整中ではございますが、令和8年2月17日(火)～20日(金)の期間での実施を予定しています。所要時間については、1時間程度です。 展示品は大ゴッホ展と同じものを展示しており、写真の撮影が可能な作品は5作品あります。肖像権、著作権の許諾が別途必要とならない範囲での撮影をお願いします。 内覧会への入場申請の手配については、委託者である福島県デステイネーションキャンペーン実行委員会が対応予定です。
18	仕様書5業務委託内容 (3) 及び (4)	参加が必須とされるイベントに関するコースの設定について	「大ゴッホ展」(内覧会を含む。)及び「ポケモン天文台」については、基本的に中通りを巡るインフルエンサーのみではなく、会津、浜通りを巡るインフルエンサーにも御参加いただく想定です。
19	仕様書5業務委託内容 (4)	DC特別企画について	DC本番を迎える令和8年4月1日～同年6月30日の期間中に開催されるイベント「特別企画」については、現在、令和7年12月23日を期限として県内市町村等に照会をしている状況です。参加表明書の御提出があった企業様には、当該書類の提出期限が過ぎた後、速やかに前回(今年9月)照会をした結果をまとめた一覧を情報提供させていただきます。
20		会期が限定されている「大ゴッホ展」や「ポケモン天文台」を海外に発信する意図について	「大ゴッホ展」については、令和8年2月21日～同年5月10日までを第1期、令和9年6月19日～同年9月26日までを第2期として開催するものであり、第2期への更なる誘客促進を図るものです。 「ポケモン天文台」については、令和8年6月15日以降の開催予定はないものの、県内にはふくしま応援ポケモン「ラッキー」とコラボレートした4つの公園や、34個のポケモンマンホールがあり、本県をPRするためのキーコンテンツであると考えることから、コースに組み込んでいただくものです。
21	その他(過去の実績)	海外インフルエンサーを招請した実績について	2015年に実施した前回のふくしまDCでは、インフルエンサーを招請した実績はなく、今回が初めての事業となります。